

地方公共団体の基幹業務システムの標準仕様 における帳票要件の標準について

令和3年8月

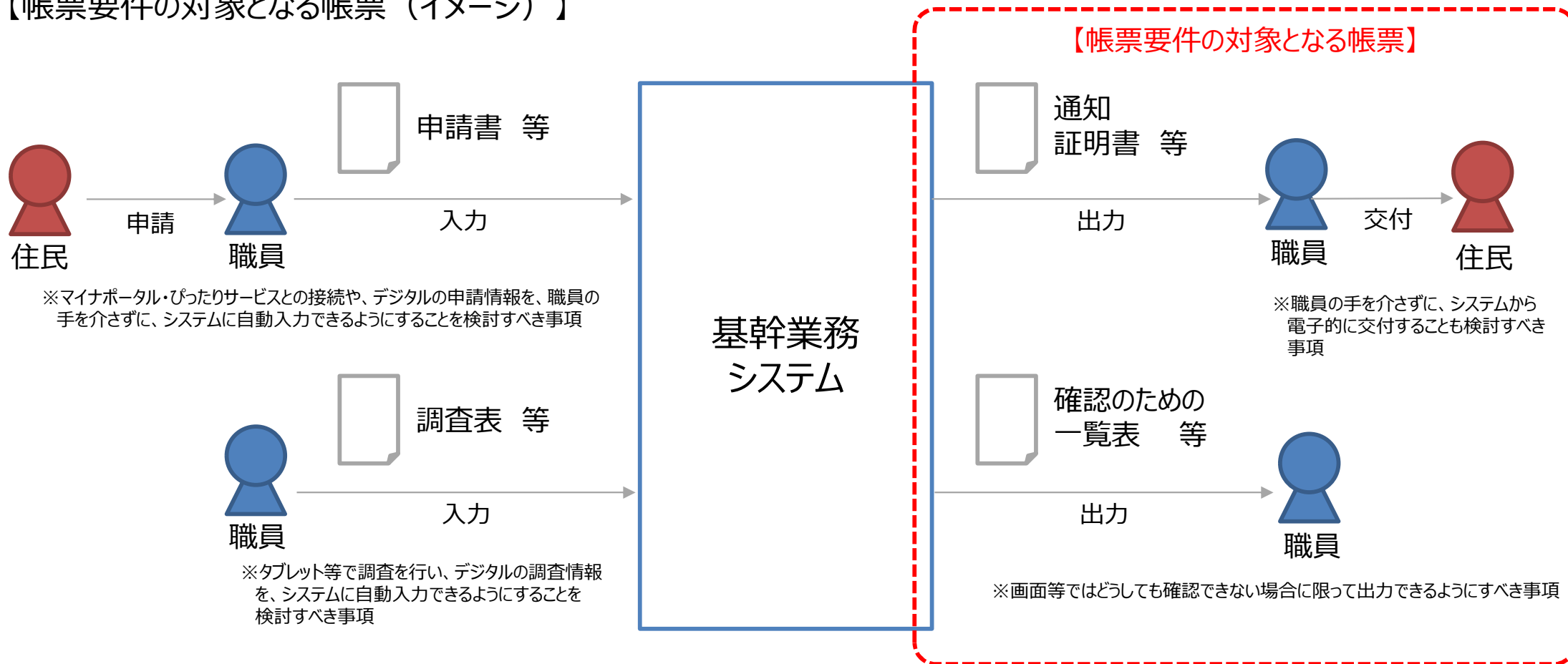
加筆修正：令和3年9月、令和4年4月

デジタル庁

帳票要件の標準について

- 帳票要件とは、システムから出力する帳票・様式に関する要件を規定するものである。
- 帳票には、(1)住民向けの帳票・様式（通知・証明書等）と、(2)職員向けの帳票・様式（確認のための一覧表等）がある。
- (1) 住民向けの帳票・様式については、既に外部システムにおける仕様等で規定され、カスタマイズの主要因となっていない帳票・様式等を除いて、標準を定める。
- (2) 職員向けの帳票・様式については、紙への出力を前提とするのではなく、B I ツール（意思決定を改善又は最適化するための情報へのアクセス、分析等を可能にするアプリケーションをいう。）等を利用して画面で確認する等のデジタル化を原則とし、真に必要なものに限定して、標準を定める。

【帳票要件の対象となる帳票（イメージ）】



帳票要件の標準として定めるべき事項

○ 帳票要件の標準は、(1)帳票 I D、(2)帳票のレイアウト、(3)帳票の諸元表で主に構成する。

(1) 帳票 I Dは、帳票の管理や電子的な交付等を行う際に利用する。統一的な I Dの振り方については、デジタル庁が別途定める。

(2) 帳票のレイアウトは、標準化されていない場合にはカスタマイズの発生原因となるため、標準を定めることを基本とする。

(3) 帳票の諸元表は、データ要件の標準と整合性を保たなければならない。なお、二重管理を避ける等の観点から、データ要件の標準をもってこれに代えることができる。

【帳票要件の標準として定めるべき事項】

(1)帳票のレイアウト

○ 住民票の写し（日本人住民）のレイアウト

住民票

氏名	個人番号
旧氏	住民票コード
世帯主	性別
年齢	住民となった年月日
住所	住所を定めた年月日
	届出日
本籍	筆頭者
転入前住所	
****	****
****	****

この写しは、住民票の原本と相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

(2)帳票の諸元表

記載編元 【20.1.1 住民票の写し】

1. 項目・記載内容

項目	種別名	項目名	内容	行数(繰り返し)	繰り返し	型	形式/形式	文字コード	範囲/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山
1	住民票の写し	サイトネ	「住民票」記載欄	1	無	全角	3	IPAny(変数)	—	12	—	—	—	28						
2		【旧姓】	通常は空白、合併後住所変更の場合「【旧姓】」を記載	1	無	全角	4	IPAny(変数)	—	12	—	—	—	28						
3		氏名	日本人の場合は【本人氏名(日本人)】、外国人の場合は【本人氏名(外国人)】において記載	1	有	半角(半角カナ)	20/半	IPAny(変数)	—	12	—	—	—	28						
4		個人番号	先頭から「4桁+6桁+4桁+6桁+4桁」で記載	1	無	全角	14	IPAny(変数)	—	12	—	—	—	28						
5		住民票コード	先頭から「4桁+6桁+4桁+6桁+4桁」で記載	1	無	全角	13	IPAny(変数)	—	12	—	—	—	28						
6		旧氏又は通称漢字	日本人の場合は「旧姓」、外国人の場合は「通称」と記載	1	無	全角	2	IPAny(変数)	—	12	—	—	—	28						
7		旧氏又は通称	日本人は「旧姓」、外国人は「通称」を記載	1	無	全角	2	IPAny(変数)	—	12	—	—	—	28						
8		江戸期口	日本人の場合は【江戸期口(日本人)】、外国人の場合は【江戸期口(外国人)】において記載。空欄の場合はその旨を記載	1	無	全角	31	IPAny(変数)	—	12	—	—	—	28						

2. 構成

項目	種別名	項目サイズ	型	範囲/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山	区別/山
1	住民票の写し	20/半(半角カナ)	半	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	旧氏又は通称	2/全(全角)	全	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※：半角はクォーテーションのあるハイフンで、区別/山は半角を半角で、区別/山は半角を半角で、区別/山は半角を半角で「—」を記入する。

(3)帳票ID